

## 平成 26 年度 第 2 回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

### 1 開催日時

平成 26 年 8 月 25 日（月） 15 : 00～16 : 30

### 2 開催場所

札幌市役所地下 2 階 1 号会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

蟹江委員長、阿部委員、武者委員、山本委員

#### (2) 札幌市職員

財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、交通局総務課長、病院局経営企画課長 他 8 名

### 4 次第

#### (1) 開会

#### (2) 委員長あいさつ

#### (3) 報告事項

ア 工事等発注状況について（平成 26 年度 6 月末）

#### (4) 抽出工事等の決定・審議

#### (5) その他

#### (6) 閉会

### 5 審議概要

#### (1) 報告事項

【蟹江委員長】 業務の入札件数が、金額ベースで前年度の 4 分の 1 程度だが、発注時期の早い工事と違い、業務の発注時期が平準化しているためか。

【札幌市】 そのとおりである。

【蟹江委員長】 業務の入札件数は、昨年度と同じ傾向にあるのか。

【札幌市】 学校の耐震改修に関する設計業務が前年度で完了したため、その分の減少はあると思われる。

#### (2) 抽出工事等の決定・審議

山本委員により選定された 3 件の工事について、審議を行うことを決定した。

ア 新川処理区南 15 条西 12 丁目ほか下水道新設工事について

【武者委員】 2年型は、高品質を維持しつつ、5年型よりもインセンティブを取りやすくするという趣旨でよいか。

【蟹江委員長】 競争が激化しているので、優良な成績を修めたことに対するインセンティブの付与を、なるべく早く反映させるというのが2年型の考え方である。

【阿部委員】 工種・等級が同じ場合の2年型の参加者数の違いは、どのような要因か。

【蟹江委員長】 土木工種の上位等級は参加率が高いが、民間主導の建築工種は参加率が低い。利益率を考慮して、受注者側で参加案件を選択しているかもしれない。

【札幌市】 工事の内容や規模の違いによるものである。

【山本委員】 土木B等級の成績が、上位等級よりも低いが、等級と成績に関連はあるのか。

【札幌市】 工事規模が大きいと加点要素が多くなるため、上位等級の方が成績が高い傾向がある。

#### イ 北28条西中通1号線ほか1線路線測量について

【蟹江委員長】 測量B等級の受注は、価格競争ではなく、くじ引きによって決まる状況になっているのであれば、何か違う尺度を入れることを考えるべきである。

【札幌市】 測量については、かねてより当委員会からご意見をいただいております。また、業界要望もあることから、優良な企業の受注機会を確保する入札方法の調査研究のため、今年度より成績重視型入札を試行実施することとした。

【阿部委員】 この状況では、測量に成績重視を導入しても、くじ引きの参加者数が変わるだけで根本的な解決策にはならない。

【札幌市】 入札参加者が成績上位者に限定されるので、入札環境は改善されるものと考えている。

#### ウ 中島中学校改築工事（主体工事）について

【蟹江委員長】 調査基準価格と失格判断基準の同レベルでの運用について、地域経済対策として、どのような評価をしているのか。

【札幌市】 応札が失格判断基準の付近に集中するために、利益が見込めないとの業界の強い要望に応えたものであり、応札価格の引き上げ効果を評価している。

### (3) その他

ア 国における品確法等の改正について、概要を説明した。

イ 次回の抽出工事の選定は阿部委員が行うことを決定した。